

# 「広域的な自転車ネットワーク候補路線（案）」の選定の考え方

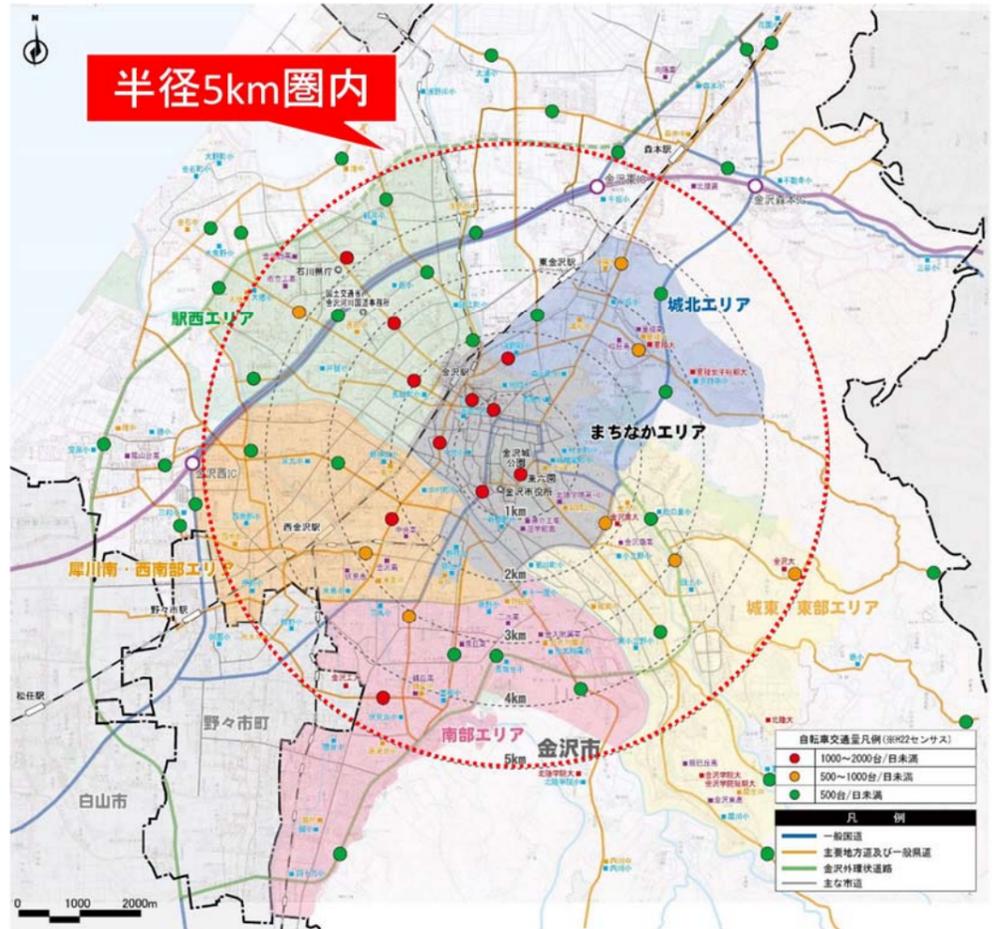
## 【広域的な自転車ネットワーク候補路線(案)とは】

- ◇自転車利用ニーズが高い路線や事故の危険性が高い路線などの条件から路線を抽出し、各路線の道路交通状況や連続性確保などの観点から踏まえて、**自転車通行空間整備を検討する路線**として示したものです。
- ◇なお、自転車ネットワーク候補路線については、**自転車利用状況の変化に応じて適宜見直し**を行います。

## 【対象範囲】

- ◇自転車交通量（500 台/日以上）の分布や、自転車が他の交通手段に比べて優位となる移動距離を考慮し、**金沢市中心部から概ね半径5km 圏内を対象**に「広域的な自転車ネットワーク候補路線」を検討します。
- ※「まちなかエリア」は、平成 26 年 2 月に「中心市街地の自転車通行空間整備ネットワーク（案）」として策定済です。

## ▼検討対象範囲

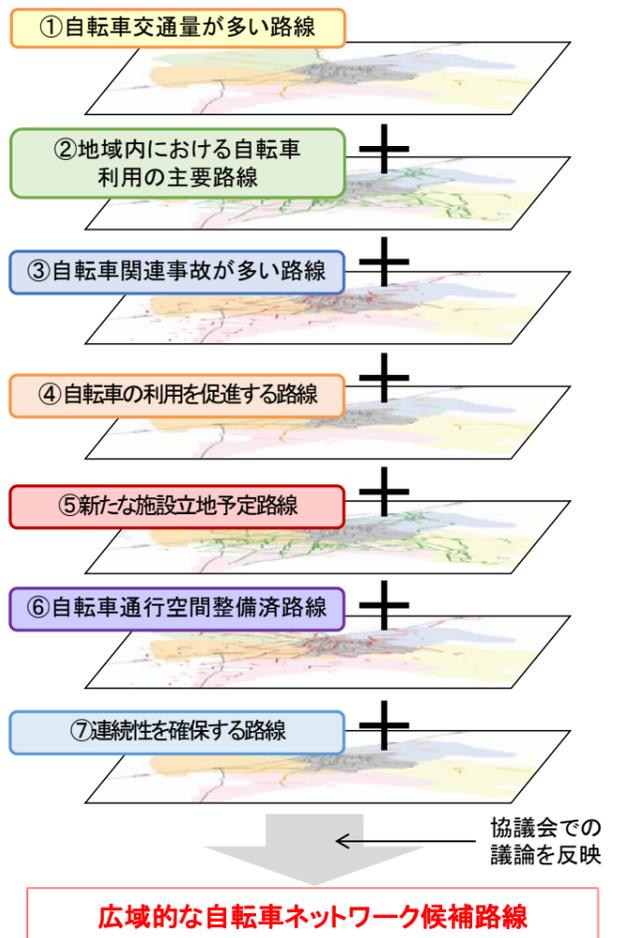


## 【選定指標】

- ◇「金沢自転車通行空間整備ガイドライン（案）」で示される路線選定の考え方に基づき、各項目の具体的な選定指標を設定し、すべての指標を重ね合わせた上で検討を行い、金沢自転車ネットワーク協議会で候補路線を選定しました。

	自転車ネットワーク候補路線選定の考え方	具体的な基準
①	自転車交通量が多い路線	◇H22 年道路交通センサスやその他交通量調査結果を基に <b>自転車交通量 500 台/日以上</b> の路線を抽出
②	地域内における自転車利用の主要路線としての役割を担う、公共交通施設、学校、地域の核となる商業施設及びスポーツ関連施設等の大規模集客施設、主な居住地区等を結ぶ路線	◇H25 年及び H26 年の自転車通行経路調査を基に自転車 <b>が延べ 20 台以上</b> 通行した路線を抽出
③	自転車と歩行者の錯綜や自転車関連の事故が多い路線の安全性を向上させるため、自転車通行空間の確保が必要な路線	◇H21～25 年の自転車関連事故データを基に <b>年 2 件/km 以上の事故</b> が発生している路線を抽出
④	地域の課題やニーズに応じて自転車の利用を促進する路線	◇H25 年の高校に対する自転車通行経路調査を基に <b>学校周辺（半径 500m）で自転車</b> <b>が延べ 10 台以上</b> 通行した路線を抽出
⑤	沿道で新たに施設立地が予定されている路線	◇現状では想定なし
⑥	既に自転車通行空間（自転車道、自転車専用通行帯等）が整備されている路線	◇郊外部において <b>自転車通行空間が整備されている路線</b> を抽出
⑦	その他自転車ネットワークの連続性を確保するために必要な路線	◇ <b>中心市街地と郊外部の整備済み路線を繋ぐ</b> <b>路線</b> を抽出

## ▼候補路線の選定イメージ



協議会での議論を反映

広域的な自転車ネットワーク候補路線